

英文IR 人材育成講座

共催：一般社団法人東京国際金融機構（FinCity.Tokyo）
株式会社日本取引所グループ・株式会社東京証券取引所

英文IR

人材育成講座

スタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場企業向け

共催者挨拶

東京証券取引所

取締役常務執行役員 **青 克美**

英文IR

人材育成講座

スタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場企業向け

上場会社パネルディスカッション

株式会社アクシージア

経営企画室 **山田 莉菜** 氏

株式会社 INFORICH

取締役兼執行役員CFO **橋本 祐樹** 氏

株式会社 GRCS

経理総務部部長 **横山 達也** 氏

Lawyer's INFO 株式会社

取締役COO **重松 英** 氏

英文IR

人材育成講座

スタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場企業向け

日本企業のIRに求めること

～海外投資家の視点～

お手元資料はございません。
画面資料をご参照ください。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

取締役 日本株式運用 総責任者 **豊田 一弘** 氏

英文IR

人材育成講座

スタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場企業向け

東京都の取組み

東京都

スタートアップ・国際金融都市戦略室 特区・規制改革担当部長
(プロモーション推進担当部長・スタートアップ戦略推進担当部長兼務)

田中 健 氏

世界をリードする 「国際金融都市・東京」の取組



東京都 スタートアップ・国際金融都市戦略室
特区・規制改革担当部長（プロモーション推進担当部長・
スタートアップ戦略推進担当部長兼務） 田中 健

「国際金融都市・東京」 構想

サステナブル・リカバリーを実現し世界をリードする国際金融都市へ

Green

グリーンファイナンス の推進

- ・グリーン/ソーシャル/トランジションbond発行に係る外部費用の支援 等

Digital

金融の デジタルイゼーション

- ・東京金融賞を通じたフィンテック企業の成長支援 等

Player

金融関連 プレイヤーの集積

- ・外国企業・人材の誘致
- ・ビジネス・生活環境の整備

+

Promotion

東京の都市・企業の魅力の 海外プロモーション



NYでの海外プロモーション



シティ・オブ・ロンドンとの連携

「金融・資産運用特区」への対応

国が掲げる資産運用立国の実現に向け、
東京がその牽引役となるべく国への提案を実施

国際金融都市・東京の目指す姿

サステナブルな社会を実現する
「アジアのイノベーション・金融ハブ」

【取組の3つの柱】

サステナブルファイナンス
の先進都市

グローバルに活躍する
スタートアップが
生まれる都市

“英語でビジネス”
グローバルスタンダード
な都市

本年6月4日、国が「金融・資産運用特区実現パッケージ」を公表し、東京都は金融・資産運用特区に指定

「アジアのイノベーション・金融ハブ」に向けて

世界有数の金融資本市場や潤沢な個人資産という東京の強みを活かし、
グローバルに資金・人材・技術・情報を呼び込むゲートウェイとして、
日本・アジア全体の成長に貢献していく



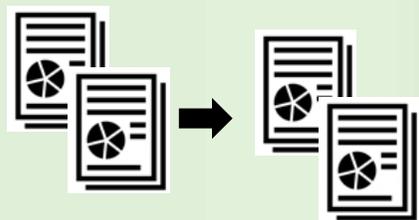
海外からの投資呼び込みに向けた取組例

FinCity.Tokyoと連携し、**企業の英語によるIR情報の発信を支援**

英文IR作成支援

- ✓ **エクイティストーリーの構築**
ESGなど海外投資家の関心やトレンドも加味した「刺さる」ストーリーを提案

- ✓ **IR資料の英訳**



- ✓ **海外投資家とのコミュニケーションのアドバイス**

👉 **グロース・スタンダード市場の企業向けに**
これまで4年間で**47社**を支援

英文IR人材育成講座

- ✓ **IR専門家等による実践的な講義を**
東証とも連携し実施



👉 昨年度は2回開催し、延べ**1,500人**超が聴講

- ✓ **今年度から、IR担当者を対象とした**
英文IRワークショップを新たに開催



👉 7月に開催し、**36社**が参加。次回は1月に開催予定

グローバルスタンダードな都市に向けた新たな取組

✓ 英文情報開示におけるAI翻訳システムの活用促進

海外から日本の企業活動を“見える化”する英文情報開示の拡大に向け、
高度AI翻訳システムの精度向上と活用を促進

企業のIR情報：AIを活用した英語翻訳



AI翻訳の精度向上！



海外投資家

参考：機械翻訳について

✓ 機械翻訳の現状

- ・機械翻訳は、近年、AIによって目覚ましく高精度化
- ・既に、特許、製薬、海外規制、科学技術論文等多くの分野で補助ツールとして日常的に利用

✓ 機械翻訳の長所

長所	意義
翻訳時間は人間とは比較にならないほど速い	使いこなせると時短・働き方改革につながる
24時間365日無停止でいつでも利用できる	夜や休日に発生する案件も多いので便利
記憶容量が大きいので専門用語に強い	人間と違って瞬時に記憶し忘れない

(東京証券取引所発行「英文開示実践ハンドブック」より)

参考：高度AI翻訳システム（金融専用モデル※）

※金融専門モデル

2022年3月に、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）と金融庁は協力して、金融分野の文書を高精度に翻訳できるAI翻訳システムを開発



サステナブルファイナンス普及・定着への取組

企業のサステナブルファイナンス活用を支援 (補助金)

- 中堅・中小企業のサステナビリティ経営への転換を支援
(金融機関と連携したサステナビリティ経営促進事業)
→24の金融機関と連携協定締結

- 企業によるSDGs債発行を支援
(SDGs債発行支援事業)
→グリーンボンド、ブルーボンド、ソーシャルボンド、
トランジションボンド

→今年度はブルーファイナンス※を対象に追加

※海洋環境の保全や持続可能な
海洋資源の利用による
持続可能な経済活動の
促進に向けた投融資



社会課題を解決するための投資 (官民連携ファンド)

- 再生可能エネルギー普及促進、インパクト投資促進などを
目的とした官民連携ファンドを組成
- 都の出資を呼び水として民間資金を集め、新しいファイナ
ンスモデルの創出を目指す

→今年度は循環経済への移行や生物多様性の保全・回復を 推進するファンドを組成中



サステナブルファイナンス普及・定着のための情報発信

- ポータルサイトの運営 (東京サステナブルNavi)
→補助金情報や
取組事例などの
情報を一元化



- イベントの開催 (Tokyo Sustainable Finance Week)
→国内外の金融関係者・中小企業・幅広い
都民に向けたイベントを開催



「SusHi Tech Tokyo」

- ・東京都は、持続可能な都市を高い技術力で実現するという理念の下、都市課題の解決に向けた挑戦や東京の多彩な魅力を「Sustainable High City Tech Tokyo = SusHi Tech Tokyo」として国内外に発信
- ・本年4月27日から5月26日の間、世界共通の都市課題解決に向けた東京発のイノベーションを創出するとともに、未来の都市モデルを発信する国際イベント「SusHi Tech Tokyo 2024」を開催

「SusHi Tech Tokyo 2024」の開催結果

アジア最大級のスタートアップイベント



東京ビッグサイト
5月15日(水)～16日(木)

グローバル
スタートアップ
プログラム

五大陸から都市のリーダーが集う国際会議

シティ・リーダーズ
プログラム

ホテルニューオータニ東京
5月15日(水)～17日(金)



ショーケース
プログラム

- 1 有明アリーナ……………5月17日(金)～21日(火)
- 2 日本科学未来館……………4月27日(土)～5月26日(日)
- 3 シンボルプロムナード公園……………5月12日(日)～5月26日(日)
- 4 海の森エリア……………5月12日(日)～21日(火)

「自然」と「便利」が融合する未来の都市モデル
を東京から発信するショーケースイベント



約610,000
延べ参加者数
延べ参加者数
シンボルプロムナード公園 約 12,000人
有明アリーナ 約 11,000人

214
協力企業数
協賛企業数
協賛企業数
協賛企業数

1,805
ボランティア活動延べ人数

298
登壇者数
登壇者数

空飛ぶクルマ
都内初飛行

水素の活用
水素の活用

40,206
延べ参加者数

47
セッション数
セッション数
セッション数

82
参加国・地域
321
都市

156
登壇者数
登壇者数

434
出展スタートアップ社数
うち海外企業が60%

507
ピッチコンテスト応募社数
応募社数

3,485以上
商談件数

45
参加都市

セッション：安全・安心
セッション：安全・安心

21
参加した都市の首長
参加した都市の首長

セッション：環境
セッション：環境

コミュニケ発信
コミュニケ発信

セッション：包摂・公正
セッション：包摂・公正

- ・来年5月8～10日、更にバージョンアップしたアジア最大級のスタートアップカンファレンス「SusHi Tech Tokyo 2025」を開催。会場規模を拡大し、協業や投資などにつながる商談機会や、世界の都市とスタートアップとの交流プログラムを拡充するほか、市民や未来を担う若者等に開放し、スタートアップやその最先端技術と触れ合う場を提供する「パブリックデイ」を新たに設置。

スタートアップの一大支援拠点 「Tokyo Innovation Base」

Tokyo Innovation Baseは、世界中のイノベーションの結節点を目指し、多様な人々がつながりあい、革新的なアイデアやテクノロジーで社会を前進させる挑戦者を生み出す場。世界最高にスタートアップフレンドリーな東京へ、Tokyo Innovation Baseから、イノベーションの新たなムーブメントを発信

SERVICES

STUDIO

若者たちの独創的な夢やアイデアをブラッシュアップし、ビジネスへと磨き上げる伴走型の支援プログラム

FAB

3Dプリンターやレーザーカッターなどのハードウェア開発用機材と、技術やビジネス面でサポートするスタッフを備えた実証フィールド

SHOP

一般消費者向けのプロダクトや食品を、試験的に販売する場をスタートアップに提供するほか、支援者との協業に向けた交流などをサポート

Open Innovation

大手企業等で新規事業の立ち上げ等に関わる方々を対象として、オープンイノベーションの導入・促進をサポート

Workspace

国内・海外のスタートアップやその支援者など多様な人々が出会い、コミュニティを形成する交流スペース

TIB PITCH

スタートアップサービスの試験導入やプロダクト展示の機会を提供する、ピッチイベントです。月に1回程度開催

MENTOR

様々な経験を有する専門家が1on1であなたのご相談に対応

Establishment

中小企業診断士が開業に伴う様々な相談に対応します。電子申請や申請書類の提出といった行政手続も実施可能

Inbound

国際ビジネス経験の豊富なバイリンガルスタッフが、ビジネスから生活面にわたる多様な支援ニーズにワンストップかつ英語で対応し、外国企業・外国人の進出をサポート

CATAPULT

東京の強みとするビジネスや技術の領域に焦点をあて、事業会社等が協働してスタートアップを強力に支援する「イノベーションクラスター」を育成

JAM

創造的なイベントや日常的な交流などを通じて、起業や挑戦に向けてつながる学生コミュニティを形成し、学生・若者の主体的な活動を応援



A nighttime aerial view of a dense cityscape, likely Tokyo, featuring numerous illuminated skyscrapers and buildings. The sky is a deep blue, and the city lights create a vibrant, glowing effect. A semi-transparent white rectangular box is centered over the image, containing the Japanese text "ご清聴ありがとうございました" in a bold, black, sans-serif font.

ご清聴ありがとうございました

英文IR 人材育成講座

スタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場企業向け

海外投資家向けIRを行う上で必要な考え方 経営層とIR部門が留意すべき点

浜辺真紀子事務所 (IR/ESGコンサルティング)

代表 **浜辺 真紀子** 氏

A grayscale background image showing three business professionals in a meeting. On the left, a man in a suit is looking towards the center. In the middle, a man with glasses and a beard, also in a suit, is looking towards the right. On the right, a woman with her hair in a ponytail is smiling and looking towards the man in the center. The background is a bright, out-of-focus office or conference room.

海外投資家向けIRを行う上で必要な考え方 経営層とIR部門が留意すべき点

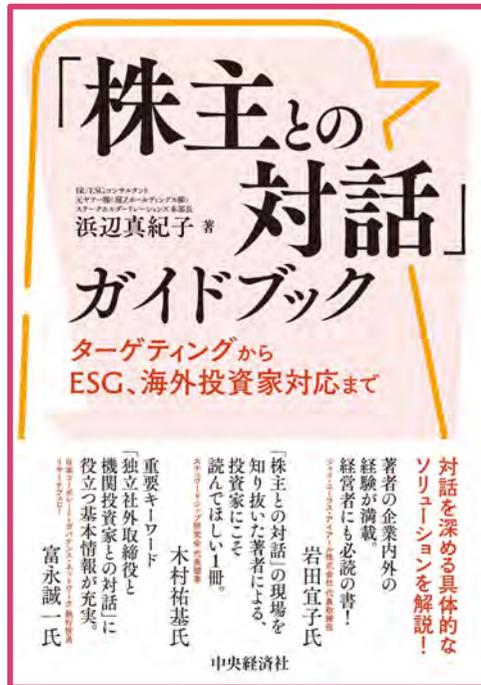
浜辺真紀子

2024年10月

自己紹介（浜辺真紀子）

- ～2000年2月 チリ中央銀行、JPモルガン等を経て、
トムソン・ファイナンシャルIR
- 2000年3月 ヤフー（株）*入社（初めてのIR専任者）*現Zホールディングス
- 2014年4月 SR（ステークホルダー・リレーションズ）本部長
- 2018年4月 社長室長 兼 コーポレートエバンジェリスト
- 2019年9月 ディップ株式会社 執行役員
- 2021年2月 浜辺真紀子事務所（IR/ESGコンサルティング）代表（現任）
- 2021年3月 株式会社 大塚商会 独立社外取締役（現任）
- ソウルドアウト株式会社 社外取締役
- 2023年3月 日本マクドナルドホールディングス（株）社外監査役（現任）

23年に2冊の本を上梓



「株主との対話」ガイドブック

～ターゲットからESG、海外投資家対応まで～

中央経済社

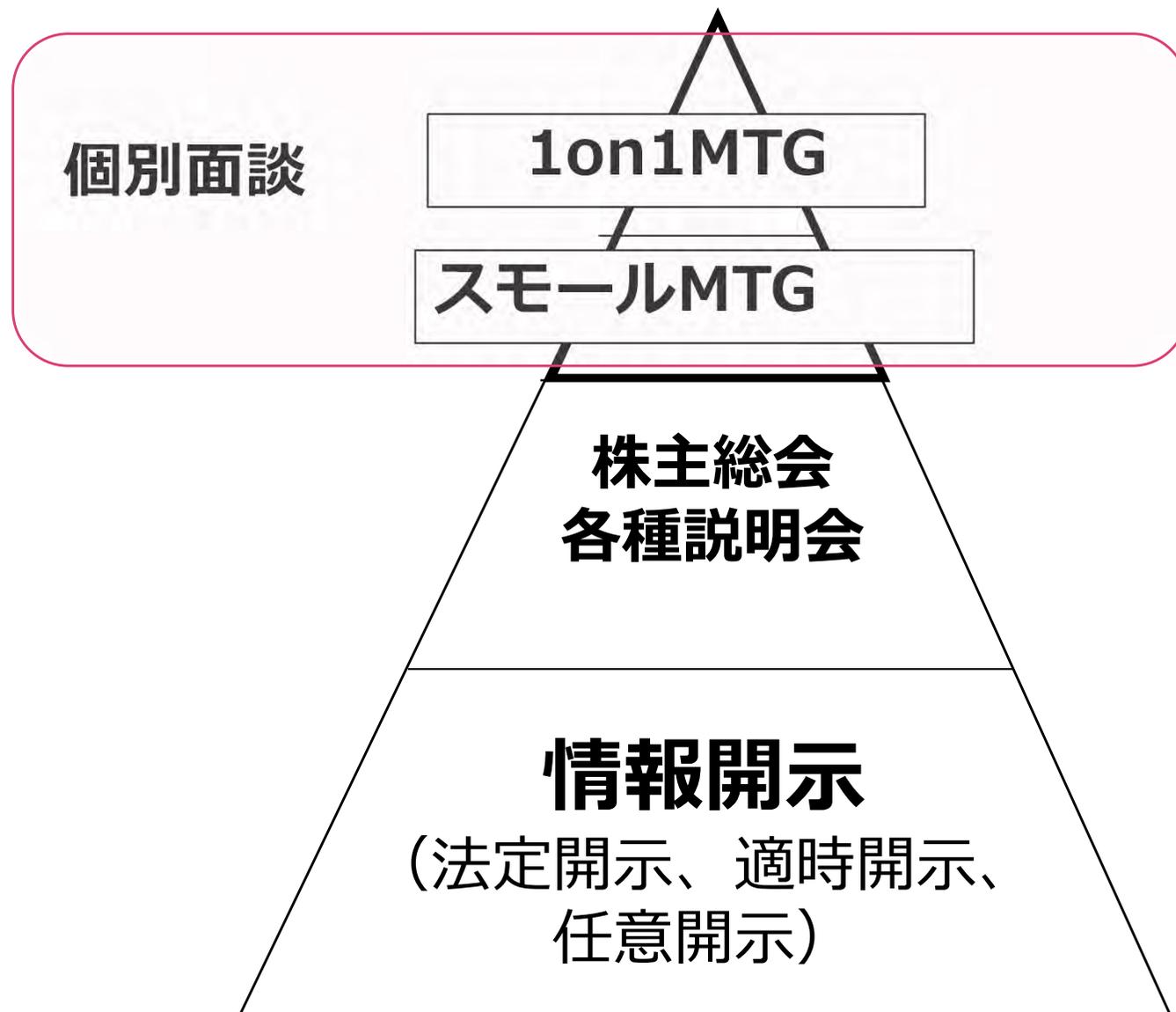
2023年3月27日発売

この1冊ですべてわかる「IRの基本」

日本実業出版社

2023年12月15日発売

「株主との対話」 = IRとは何か？



投資家分類とターゲティング

投資家属性

機関投資家

(B)

(A)

(D)

(C)

個人投資家

- ・投資家としてのスキル・経験
- ・会社の事業、機会/リスクへの理解の深さ
- ・株価&資金調達へのインパクト

視点の長さ

短期

中長期

- ・「企業の中長期の成長を期待しているか」
vs「短期での利益確定を期待しているか」

機関投資家分類とターゲティング

投資家属性

海外機関投資家

??

(B)

(A)

視点の長さ

短期

中長期

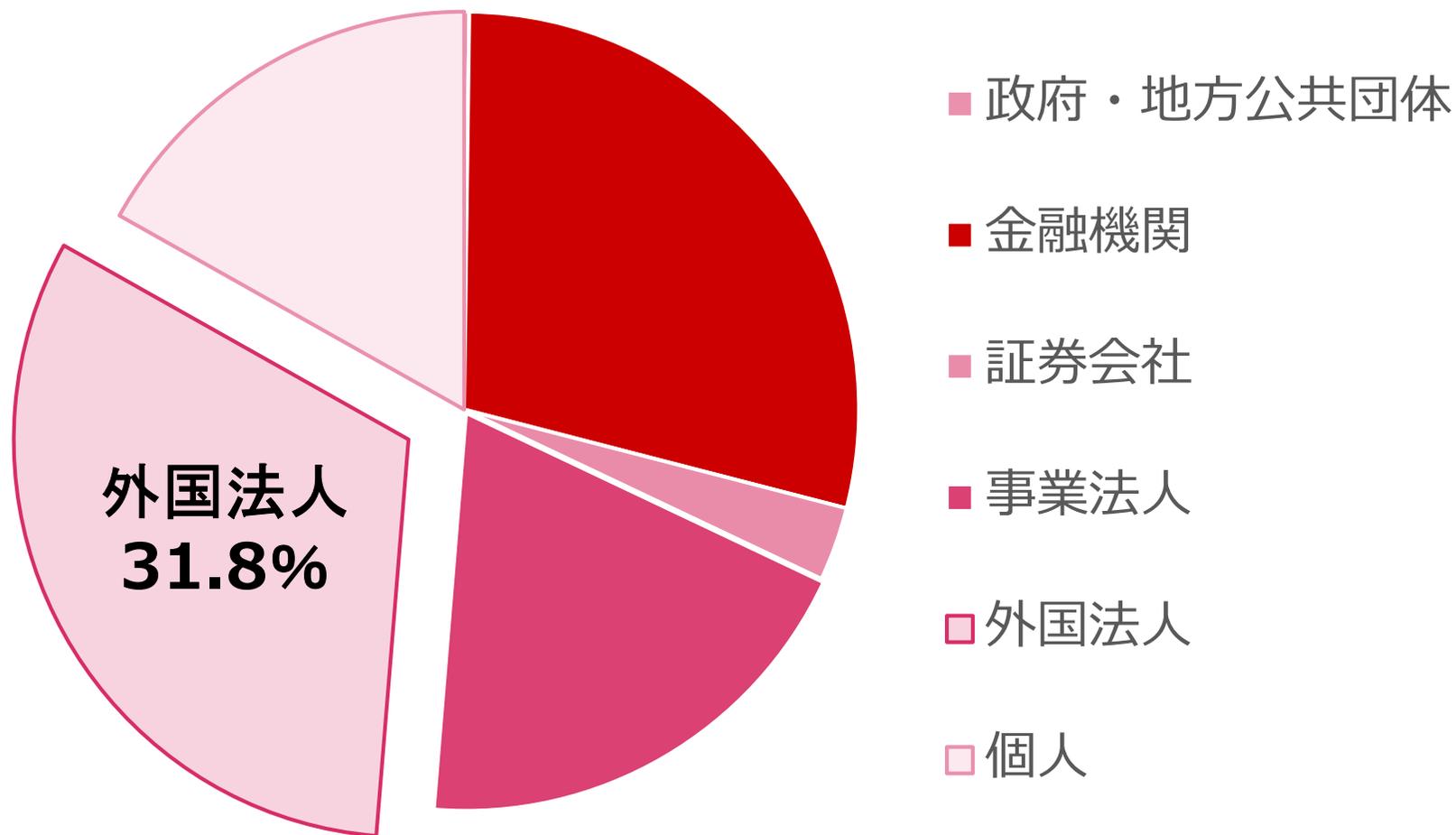
(D)

(C)

- ・「企業の中長期の成長を期待しているか」
vs「短期での利益確定を期待しているか」

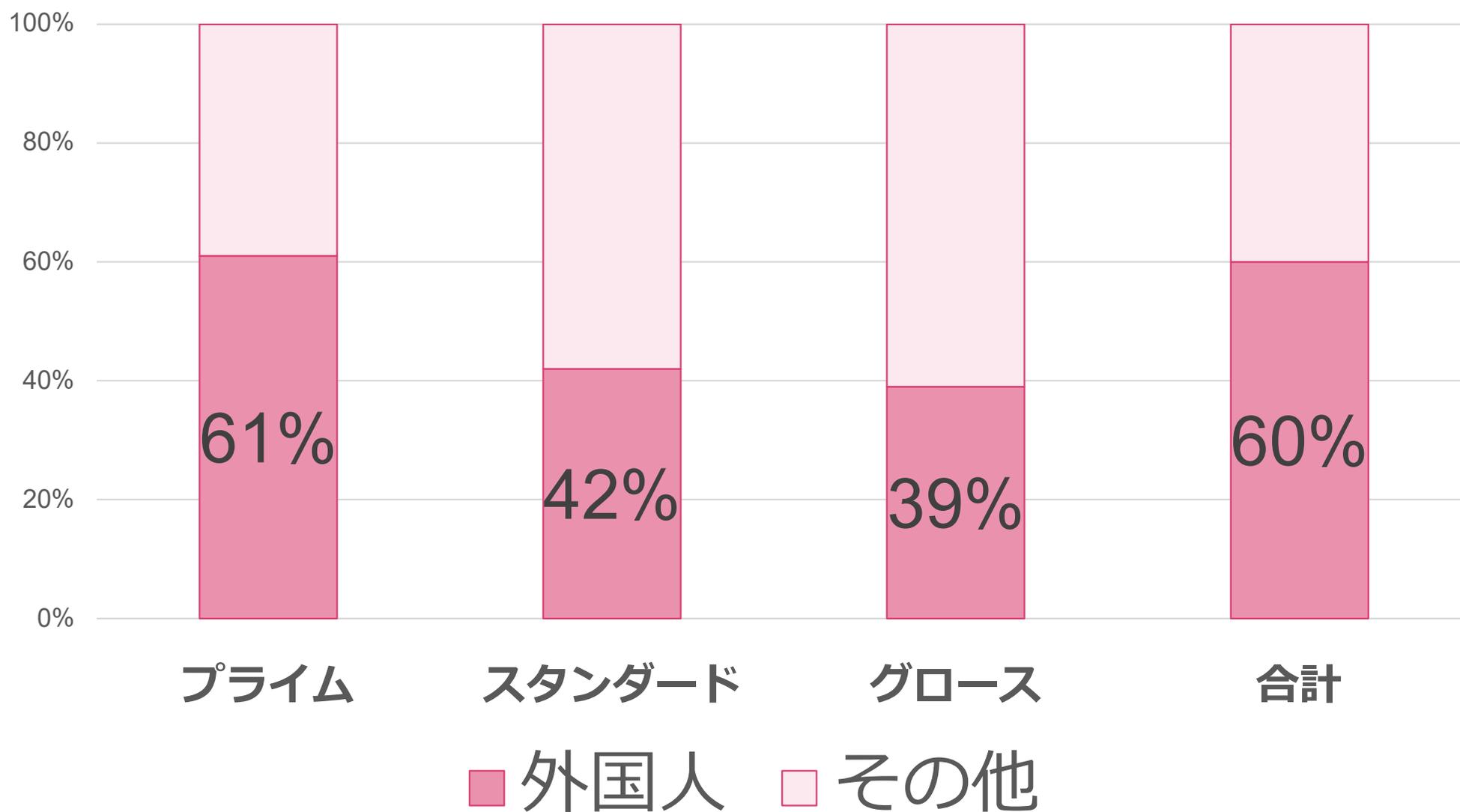
国内機関投資家

海外投資家の重要性：株式保有状況



出所：日本取引所グループ 株式分布状況調査（2023年度）

海外投資家の重要性：株式売買高



海外投資家の重要性：定性面から

発掘力

- 日系機関投資家に比べて「アクティブ運用」比率が高い
- 独自の視点により、高い成長可能性を持つ上場会社を見つけ、「エッジが効いた」投資をする傾向がある
- 強い「海外投資家ネットワーク」を持つ

対話力

- 海外企業への造詣が深く、日本人とは異なる視点を持つ
- 運用成績に対して厳しい評価を下される環境にあり、プロフェッショナル度が高い

海外投資家の投資ユニバーズ

- グローバルファンド
- 中小型株ファンド
- 上場時、または上場2年未満の会社

投資ユニバーズに含まれない場合

- 「上場会社の情報開示」と「投資家の保有」は「鶏と卵」の関係
- 業績を伸ばす努力をしつつ、「個人投資家」「短期視点の機関投資家向け」に対して、誠実なIR活動を
- 同時に、英語の情報開示を適切に行うことで「投資ユニバーズ」に入った際に、すぐ海外投資家をターゲットできるよう準備を

海外投資家をターゲットすることの重要性

投資家属性

海外機関投資家

(B)

(A)

視点の長さ

短期

中長期

(D)

(C)

国内機関投資家

主なポイント

- 開示資料の英語化
- 海外投資家を意識した補足資料の作成
- 英語で話す
- 海外ロードショー
- サポート会社やAIの効果的/効率的な活用

プライム市場上場会社に対する英文開示の義務化

項目	想定される書類	開示タイミング	留意事項
決算情報	<ul style="list-style-type: none">・ 決算短信/四半期短信・ 決算補足説明資料	日本語と同時*	・ 全書類/全文について同時開示することが望まれるが、日本語における開示の内容の一部又は概要を英語により開示することも可
適時開示情報	<ul style="list-style-type: none">・ すべての適時開示項目		

*例えば、発生事実に係る開示など急遽対応が必要になる場合や、関係者との調整等により開示直前まで日本語による開示内容が定まらない場合であって、英語による同時開示を行おうとすると、日本語による開示の遅延が生じるときは、同時でなくても可（日本語を優先して開示）

出所：（株）東京証券取引所 2024年2月26日

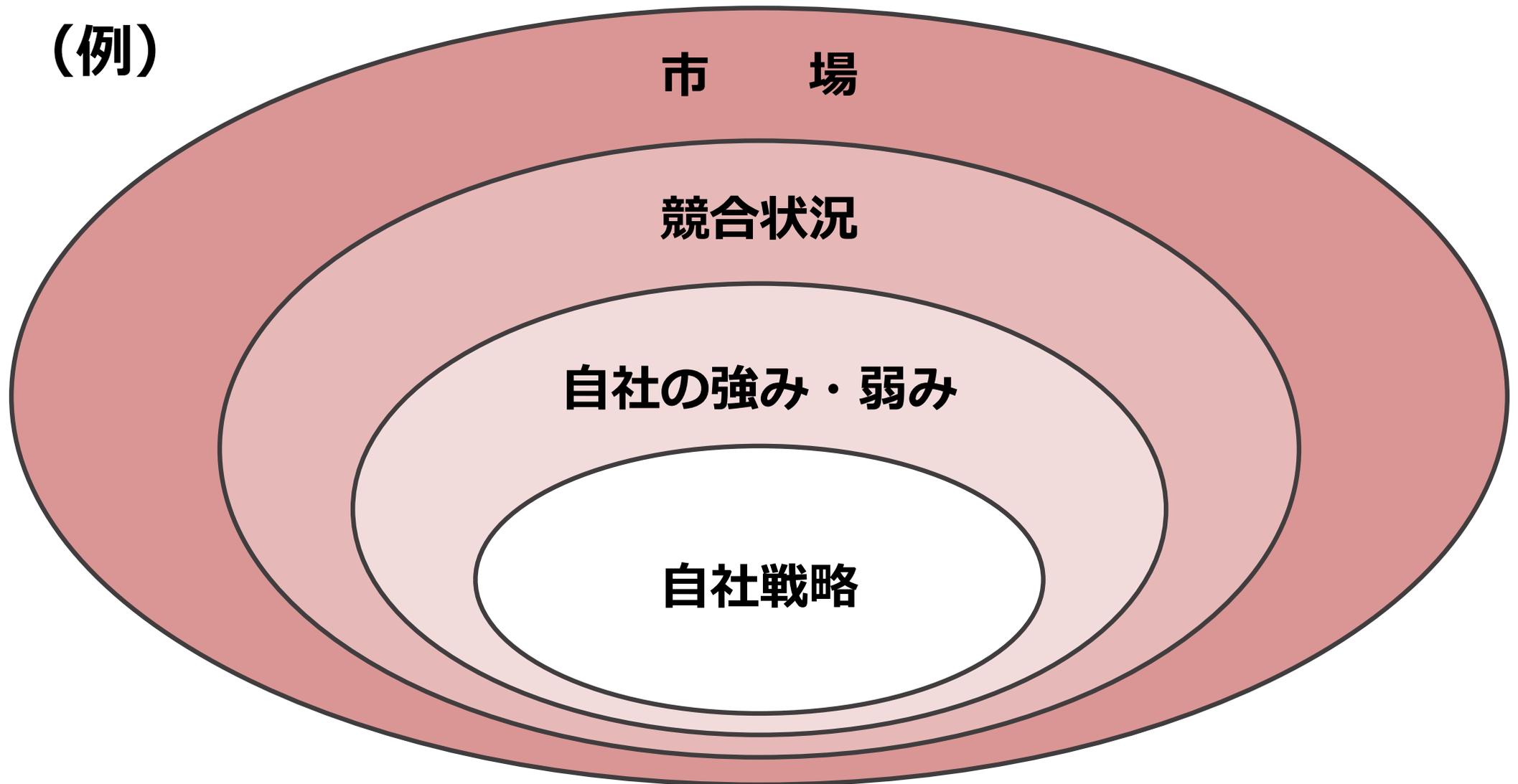
プライム市場における英文開示の拡充 に向けた上場制度の整備の概要

上記資料以外にも、IRサイトに掲載されている情報は、
全て英語化されているべき

海外投資家のアプローチ

「積み上げ」ではなく「マクロ視点からミクロ視点へ」

(例)



海外投資家を意識した補足資料の作成

● 「初めて会う投資家向けプレゼン資料」の作成と事前送付

→必要な情報を1冊にコンパクトにまとめる

内容例(基本事項)

IRサイトにも要掲載!

- ✓ ビジョン、ミッション、パーパス等
- ✓ ビジネスモデル (例: 誰からお金をどうもらって、誰にどう払っているか)
- ✓ 市場規模、競合(各社の特徴)、市場シェア推移
- ✓ 自社の強み、差別化要素
- ✓ 財務・非財務指標推移表 (できればエクセルでサイトに掲載)
- ✓ 株主情報 (所有者別株式分布状況)、コーポレートガバナンス情報、等

● スポンサーードリサーチ (第三者レポート) を活用する方法もあり

海外投資家を意識した補足資料の作成

- 国別の事業環境の「常識と理解」によるギャップ
 - ✓ 産業を取り巻く状況
 - ✓ 消費者/顧客の行動様式
 - ✓ 競合状況、等
- 対話を通じて「ギャップ」を見極めた上で、以下に対応：
 - ✓ **補足資料の作成**
 - ✓ 「初めて会う投資家向け資料」等への挿入

(得意でなくても) これだけは英語で話そう！

事前に日本語で原稿を書き、英語に翻訳、
ネイティブチェックを受けた上で、暗記

(1)自己紹介

- 海外投資家にとって「スピーカーが誰なのか」は重要
- 何年間、現在のポジションを担っているか
- 自身の職歴(自社及び前職等)を軸にアピール！
 - ✓ 「自社を正しく理解し」
 - ✓ 「株式市場の考え方も理解しているため」
 - ✓ 「『経営の代弁者』として十分な資質を持っている」

(得意でなくても) これだけは英語で話そう！

(2)自社が「魅力的な投資対象」であることの説明

- 「ミッション」「パーパス」「ビジネスモデル」「自社の強み」等
→ 「初めて会う投資家向けプレゼン資料」(P15)を活用
- 事業の詳細やQ&Aは通訳を介しても可
「英語で説明できるパーツを徐々に増やす」ことを目指す

英語カブラッシュアップのために

- 1 自己紹介/自社の魅力説明 (P17参照)
 - 相手がイラついたら、すぐに切り替える
 - ※相手がイラつくのは、準備不足のための場合が多いので、準備し直し
- 3 チーム内での勉強会
 - 日本語エッセイの英語サマリー等
- 4 オンライン英会話等での練習
 - エッセイを元にしたネイティブスピーカーとのディスカッション等

海外ロードショー

既存株主のフォローアップと新たな株主の開拓

- 「中長期戦略」「課題と解決方法」は必須
- アレンジ会社の決定と連携
(証券会社/IR支援会社)
- 訪問投資家のターゲティング

サポート会社やAIの効果的/効率的な活用

- サポート会社の活用（通訳、翻訳、コンサル等）
 - ✓ 高度なプロ集団のサポートを効果的に活用することでIR活動の進化/深化を
 - ✓ 適宜「フィードバック」を行うことで、サポート力の育成を
- AI等の活用（議事録、英訳等）
 - ✓ セキュリティ面の安全性に注意しつつ、適切なリソース活用を
 - ✓ 「人力でなくともできる業務」をAI等に置き換えることを目指し、常にアンテナを高く持つ

ご清聴

有難うございました

英文IR

人材育成講座

スタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場企業向け

共催者挨拶

一般社団法人 東京国際金融機構
事務局次長 **飛田 亮**

FinCity.Tokyo及び 英文情報開示支援事業の紹介

FinCity.Tokyo事務局
2024年10月

10月7日(月) 14:00~17:00

主にスタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場会社向け

14:00~14:05 **共催者挨拶**
東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美

上場会社パネルディスカッション
14:05~14:50 株式会社INFORICH 取締役兼執行役員CFO 橋本 祐樹 氏
株式会社GRCS 総務部 横山 達也 氏
株式会社アクシーシア 経営企画室 山田 莉菜 氏
Lawyer's INFO株式会社 取締役COO 重松 英 氏 (モデレーター)

14:50~15:40 **日本企業のIRに求めること ~海外投資家の視点~**
シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社 取締役 日本株式運用 総責任者 豊田 一弘 氏

15:40~15:55 **休 憩**

東京都の取組み
15:55~16:10 東京都 スタートアップ・国際金融都市戦略室 特区・規制改革担当部長(プロモーション推進担当部長・スタートアップ戦略推進担当部長兼務) 田中 健 氏

海外投資家向けIRを行う上で必要な考え方 経営層とIR部門が留意すべき点
16:10~16:50 浜辺真紀子事務所 (IR/ESGコンサルティング) 代表 浜辺 真紀子 氏

16:50~17:00 **共催者挨拶**
一般社団法人東京国際金融機構 事務局次長 飛田 亮

10月8日(火) 14:00~17:30
主にプライム市場向け

- 14:00~14:05 **共催者挨拶**
東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美
-
- 14:05~14:30 **プライム市場における英文開示の拡充と東証の取組み**
東京証券取引所 上場部開示業務室課長 内藤 啓介
-
- 14:30~15:20 **グローバル投資家との対話における留意点**
ペンローズジャパン 創業者 曾我 有希 氏
-
- 15:20~15:35 **休 憩**
-
- 15:35~16:25 **上場会社パネルディスカッション**
株式会社リクルートホールディングス IR部グループマネジャー 沈 みずほ 氏
横河電機株式会社 経理財務本部IR部部长 中谷 博彦 氏
株式会社アドバンテスト 経営戦略本部IR部部长 尾池 純子 氏
ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 ディレクター 原山 真紀 氏 (モデレーター)
-
- 16:25~17:25 **英文開示の実践～日英同時開示の実現に向けて～**
英文開示実施に向けた計画の立案：日本財務翻訳株式会社 代表取締役社長 松本 智子 氏
翻訳外注時のポイント、プロの翻訳者から見た機械翻訳：宝印刷株式会社 国際事業統括部 小林 大和 氏
-
- 17:25~17:30 **共催者挨拶**
一般社団法人東京国際金融機構 事務局次長 大山 智子

お問い合わせメールアドレス：disclosure.g@fincity.tokyo

東京都が2017年11月にとりまとめた「国際金融都市・東京」構想では、構想実現が少子高齢化等の社会的課題解決に結びつくこと、また、資産運用業とフィンテック産業育成の重要性が明記された。

家計金融資産の有効活用と持続的な経済成長の実現

東京都「国際金融都市・東京」構想(2017年11月)

【東京が目指す都市像】

アジアの金融ハブ

金融人材・資金・情報・技術

資産運用業
フィンテック

社会的課題解決

【具体的施策】

魅力的なビジネス・生活環境整備

- ・ 税負担の軽減
- ・ 行政手続の簡素化
- ・ 外国人の生活環境

東京市場のプレーヤー育成

- ・ 海外金融系企業の誘致
- ・ 資産運用業者の育成
- ・ フィンテック産業の育成

金融による社会的課題解決への貢献

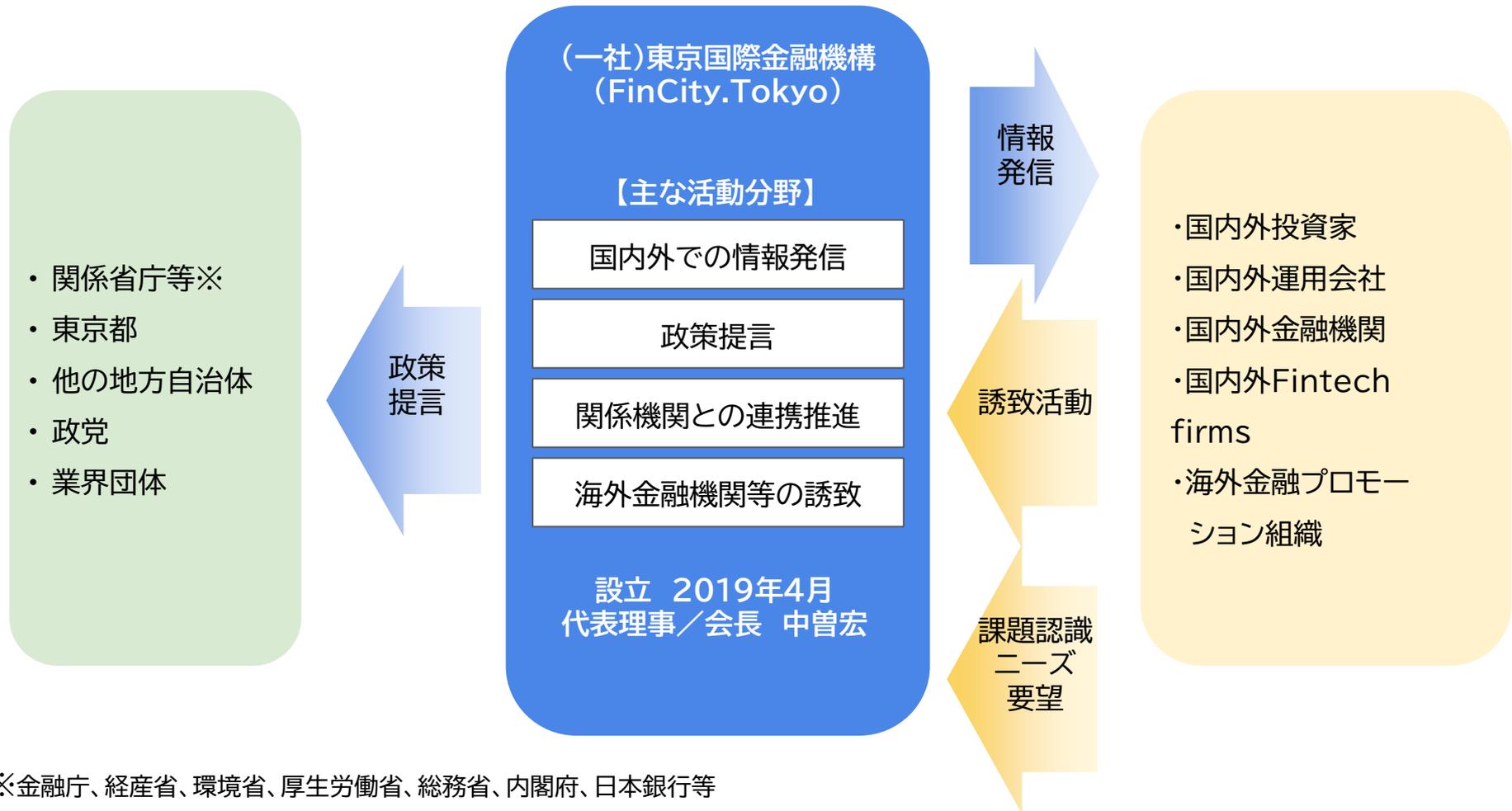
- ・ 「投資家・顧客ファースト」の徹底
- ・ ESG投資の普及促進

出展: 東京都「国際金融都市・東京」構想よりFinCity.Tokyo作成

東京国際金融機構(FinCity.Tokyo)について



- 東京都が2017年11月にとりまとめた「国際金融都市・東京」構想をきっかけに、2019年4月に官民連携金融プロモーション組織「一般社団法人東京国際金融機構(FinCity.Tokyo)」が発足。



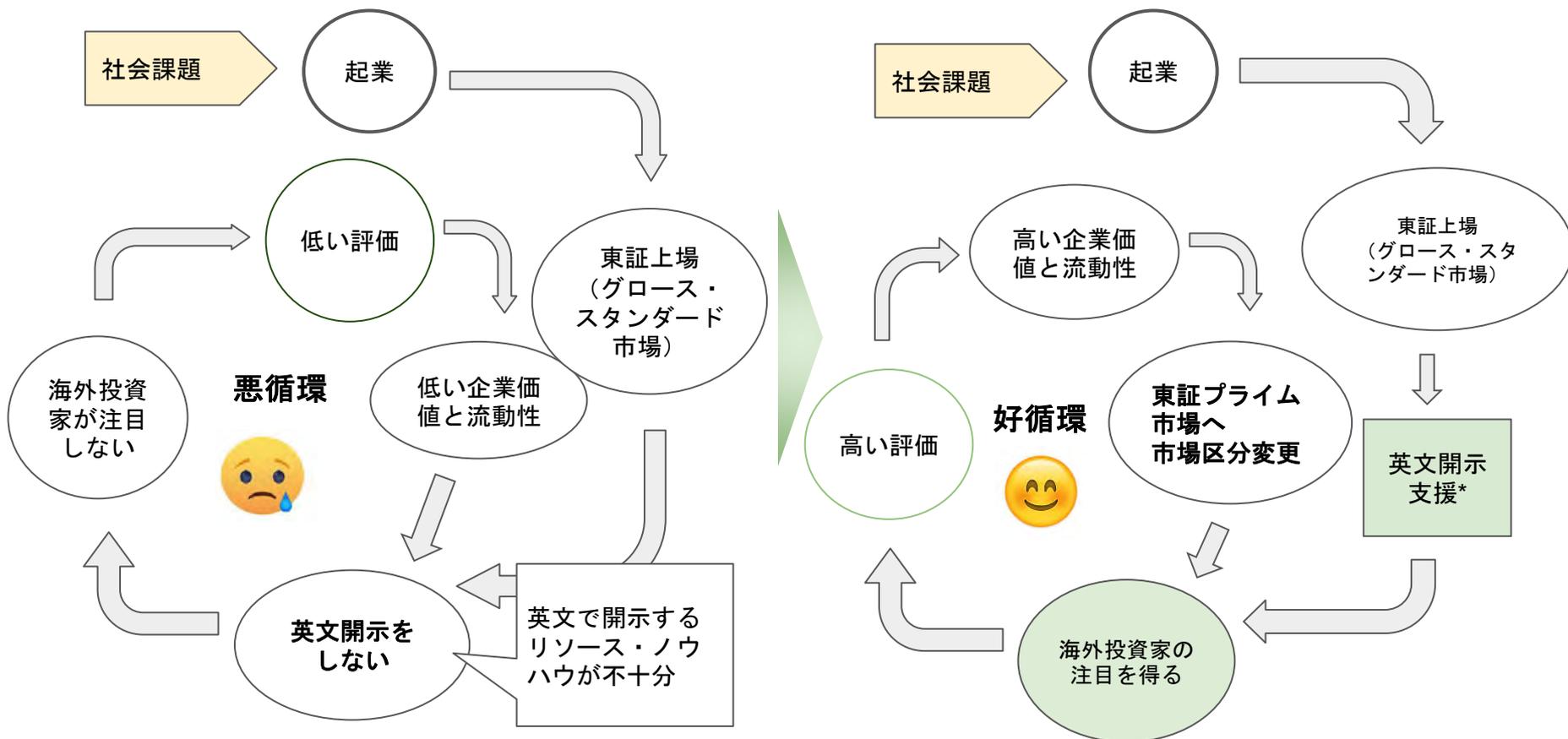
※金融庁、経産省、環境省、厚生労働省、総務省、内閣府、日本銀行等

FinCity.Tokyo 会員一覧 (2024年10月1日現在、合計57の法人・団体が入会)



上場中小企業英文開示に対する問題意識

日本には社会課題解決を目的とした上場中小企業が多いが、英文開示を実施できている企業が少なく、海外投資家にはあまり知られていない。英語での開示を支援することで悪循環を好循環に変換できる。



*日本の上場企業3936社のうち、統合報告書等のESG開示を実施している企業は934社程度。

Source: KPMG [Survey of Corporate Reports in Japan 2023](#) よりFCT推計。

上場企業個別英文IR支援 プログラムの内容

【支援プログラム】

選定事業者を対象として、以下に記載する支援プログラムを無料で実施し、選定事業者の海外投資家向けIRのブラッシュアップを図る。

1. エクイティ・ストーリーの構築支援
2. 決算短信及び決算 IR 説明会資料等(決算期によって有価証券報告書、事業計画及び成長可能性に関する事項の開示も対象とする)の英訳支援
3. 海外投資家とのコミュニケーションアドバイス

※上記については、当法人が委託するIR支援事業者(トランスパシフィックエンタープライズ社)が実施します。

【実施期間】

選定日より選定日が属する年度末(令和6年度は令和7年3月末)までとします。

上場企業個別英文IR支援 主な応募要件

- 東証グロース市場又はスタンダード市場に既上場であること。
- 2024年4月1日終値時点で時価総額が1,000億円未満の企業
(ただし、2024年4月1日時点で未上場の場合は上場日終値または申し込み前月末終値時点の時価総額が1,000億円未満であること)
- 東証プライム市場に上場する親会社が存在しないこと。
なお、親会社とは財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則(昭和38年大蔵省令第59号)第8条第3項の規定する親会社をいう。
- 東京都に本店、支店、営業所などの拠点があること。
- 海外投資家向けIRを実施できるだけのIR体制がある若しくは体制を整備する計画や意向があること。
- グローバル市場への事業展開を実施している若しくは実施する計画や意向があること。
- ESGに関して、積極的に活動を実施している若しくは実施する計画や意向があること。
- 過年度に当法人からの英文情報開示支援を受けていないこと。

※詳細は当法人ウェブサイトをご覧ください <https://fincity.tokyo/activities/2088/>(今年度の募集は締め切りました)



More information

[https://fincity.tokyo/en/
contact@fincity.tokyo](https://fincity.tokyo/en/contact@fincity.tokyo)

